

東京文化財ウィーク2026企画事業

旧辻陶房主屋兼作業場及び 旧辻陶房登り窯の特別公開

写真：旧辻陶房登り窯

応募者
多数の場合
抽選

国登録有形文化財（建造物）であり、通常は非公開である陶芸家・辻清明と辻協が数々の作品を創作した住居兼工房と登り窯を特別公開します。

▶申込期間（令和8年）

▶開催日時（令和8年）

▶公開時間（各回1時間30分程度）

10/20 [火] ~

11/24 [火]

① 10:00 ~

11/10 [火]

11/28 [土]

② 13:30 ~

※詳細は裏面をご参照ください。

11/29 [日]

お申込みはこちら⇒



【特別公開】旧辻陶房主屋兼作業場及び旧辻陶房登り窯



「旧辻陶房主屋兼作業場」

令和 7（2025）年に国登録有形文化財（建造物）に登録された「旧辻陶房主屋兼作業場」と「旧辻陶房登り窯」を、東京文化財ウィークで特別公開（通常非公開）します。

陶芸家・辻清明と辻協が作品を制作してきた住居兼作業場（写真：左）と作品を焼成してきた登り窯（写真：表面）を見学することができます。

—陶芸家、辻清明と辻協について—

辻清明（1927-2008）は、日本を代表する現代陶芸作家の一人である。信楽の土を用いた無釉の焼締め陶を特色とし、「明る寂び」と呼ばれる独自の美意識に基づく作品を創出した。平成 18（2006）年には東京都名誉都民に選ばれた。妻の辻協（1930-2008）も陶芸家として活躍し、夫婦ともに日本陶磁協会賞を受賞している。その二人が多摩市連光寺に築いた住居兼作業場が旧辻陶房である。

【申込み案内】

○申込方法 多摩市公式ホームページのインターネット手続きで申込み（下記の QR コードからアクセス可能）

○申込期間 令和 8（2026）年 10 月 20 日（火）から 11 月 10 日（火）まで○開催日 令和 8（2026）年 11 月 24 日（火）、28 日（土）、29 日（日）○開催時間

①10:00～、②13:30～ ※各回 1 時間半程度○定員 各回 10 人（応募者多数の場合は抽選）○参加費用

1,000 円

○待ち合わせ場所 旧多摩聖蹟記念館（多摩市連光寺 5-1-1、都立桜ヶ丘公園内）

アクセス：京王線聖蹟桜ヶ丘駅または京王・小田急永山駅からバス「記念館前」下車、徒歩約 5 分

※ 1. 歩きやすい靴を履いてお越しください

※ 2. 公開場所については、通常非公開のため参加者のみにご連絡いたします。また、駐車場をご利用される方は「都立桜ヶ丘公園 記念館駐車場」をご利用ください。



【主 催】有限会社 わッカ

【問い合わせ】多摩市教育委員会 教育振興課 文化財係 TEL：042（338）6883

〒206-0025 東京都多摩市永山 1-5 ベルブ永山 3 階